

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月12日		記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	企画部		課名	相模湖町地域自治区事務所庶務課	課長名	杉本 孝夫
平成19年度部名	市民活力推進部		課名	相模湖町地域自治区事務所	課長名	榎本 昭雄
事務事業名	相模湖総合事務所庁用自動車維持管理事業					
予算上の事務事業名	庁用自動車維持管理費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード			
基本目標	#N/A					
政策名	#N/A					
基本施策名	#N/A					
施策名	#N/A					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
道路交通法、道路運送車両法、相模原市庁用自動車管理規則						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
相模湖総合事務所に配置されている庁用自動車の定期点検等の実施などを行い安全に使用できるようにするほか、長期間の使用ができるよう維持管理を行う。					相模湖町地域自治区事務所管理車両	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
年間を通して、法に基づく車検、定期点検の実施、自動車修繕、消耗品の購入などを行う。						
平成18年度決算見込額 1,184千円						
内訳			需用費(燃料、車両修理代(点検代含む)、消耗品等)	863千円		
			役務費(保険料等)	214千円		
			公課費(自動車重量税)	107千円		
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
他の自治体においても同様の目的で実施している。それぞれの自治体の規模や、車両の保有方法により相違があるものと思われる。						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	1,184	2,880	2,880	
一般財源	0	0	1,184	2,880	2,880	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	1,210	1,210	1,210	
事業コスト合計	0	0	2,394	4,090	4,090	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	燃料費(ガソリン代)			対象名称 と単位	車両台数(台)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	269	1,200	1,200	
対象数	0	0	10	0	0	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	26,900	#DIV/0!	#DIV/0!	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	指標式と指標の説明	スタッドレスタイヤ装着車両を増加する。			
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	1.0		
目標	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	50.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	指標式と指標の説明	実績：所有車両の平均燃費（総走行距離 / 総燃料） 目標：2010年度燃費目標基準の所有車両による平均値			
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	10.2		
目標	0.0	0.0	15.6	15.6	15.6
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	65.4		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市で購入・管理している車両を、耐用年数と比較して、今後はリース車両として、点検等の業務をリース会社が行うなど見直しを検討する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
低燃費、環境対策車の導入を進めるにあたり、リース車両を導入することにより車両の点検などの維持管理業務の効率を高める。			合併により、旧町以外に出張する機会が多く、公用車両の使用の抑制は難しいこと。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業所管課長による評価(今後の方向性)のとおり、見直しを進める。今後管財課、財務課等との調整を要す。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			